

学校教育目標



夢 に向かっていく生徒
命 を大切に作る生徒
絆 を互いに深め合う生徒

須和田が丘

令和6年度
学校だより No. 14
令和6年 11月6日

市川市立第二中学校
校長 杉山 哲

ホームページ [https:// www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/](https://www.dai2-tyu.ichikawa-school.ed.jp/)

合唱祭～心に響いたクラス・学年・全校の歌声～

10月18日（金）、合唱祭が開催されました。実行委員を中心に準備を進め、ここまでの数週間、毎日学校中に熱い練習の歌声が響き渡っていた合唱の祭典…いよいよ本番です。

朝、各クラスで最後の声だしをし、本番に向けて気持ちを作ります。徐々に高まる緊張感を感じながら体育館に入場。講師紹介などの開会式を終えると、まずは2年生の発表です。学年合唱は「翼をください」。男女のバランスがよくとれた、伸びやかな歌声が体育館全体を包み込み、合唱祭の雰囲気を作ってくれました。

クラス発表は、どのクラスも2年生らしい安定した合唱を披露。それぞれのクラスの特徴やこだわりがちゃんと感じられる、とてもいい仕上がりがります。男女どのパートも音程が正確で、一人一人が自信を持って丁寧に歌っていることが、表情からも伝わってきます。

次は1年生の番。学年合唱は「校歌」です。きれいに歌えていて、音量も2年生に引けをとりません。二中の校歌の美しさを改めて感じさせてくれました。

クラス発表に移っても、どのクラスもよく声が出ていて、楽しそうに歌います。1年生らしい初々しさもありながら、堂々とした歌声で、会場を感心させました。

最後はお待ちかね、3年生の登場です。まずは学年合唱…「虹が生まれる」は、最初から聴くものの心を鷲掴みにする圧倒的な迫力でした。それぞれのパートの、全員の気持ちがこもった声が変わり、溶け合って会場を満たします。

このブロックのクラス発表のトップバッターは白百合学級。少人数ながら全員が全身で声を出して、「さびしいカシの木」を一生懸命歌います。やなせたかしさんが作詞した曲…白百合のみんなには馴染みのなかった曲のようですが、しっかり音がとれていて、ハーモニーもバッチリ。カシの木の気持ちになって歌います。心に残る素敵な合唱でした。

そして…いよいよ3年生のクラス発表。やはりこれまでの発表とはレベルの違いを感じさせる、素晴らしい合唱でした。どのクラスも、声の伸び、厚み、曲想…男女どのパートも申し分なく、互いに響きあって美しく力強いハーモニーを作り出していました。それぞれのクラスに個性があって、伝えたい思いが感じられて、心に響きました。

全てのクラスが発表を終え、講師の先生から講評をいただいた後、最後は全校合唱です。「ほらね、」を全校で歌います。「ほらね 僕らは一人じゃない きっとね 誰も一人じゃない…」東日本大震災のあと、歌で日本をつなげようと作られた曲です。全校生徒の気持ちの乗った歌声が一つになって、体育館全体に音の塊が満ち溢れるようです。「うたはあなたの大切なともだち いつもそばにいる大切なともだちだから」…歌詞の意味を全員で共感しながら、思いを込めて歌う姿と圧巻の歌声は、そこにいた全ての人の心を動かししました。

今年度も無事、直接歌声を聴き合える形で開催できた合唱祭。上級生の合唱に感動し、憧れを持ち、それを目標にして次年度に繋げていく…二中に合唱という伝統が確実に育まれていることを実感できた一日になりました。

学校生活の様子を、二中ブログ（HP）に掲載しています。ぜひチェックしてみてください！

